令和元年度 学校評価票(高等部生徒)まとめ一覧表
普通科(2名/2名) 理療科(8名/8名)回収率100%

No.	質問内容	A	B	C	D	A+B	C+D
1	先生方は、あなたの見え方など実態に合わせてわかりやすい授業をしていますか。	90%	10%			100%	0%
2	先生方は、少人数による個別指導を生かし、各種大会やコンテストへの参加や応募に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。	80%	20%			100%	0%
3	(理療科の生徒のみ答えてください) 先生方は、臨床実習の指導や国家試験の合格に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。	100%				100%	0%
4	先生方は、成就感や人間性育成のために体験活動を積極的に取り入れていますか。	60%	40%			100%	0%
5	あなたは先生たちの指導のもと、自分の障がいの状況や日頃の健康状態について把握し、適切な自己管理ができていますか。	50%	40%	10%		90%	10%
6	あなたは、学校給食などを通して、食全般において、健康を考えながら食事をしていますか。	30%	50%	20%		80%	20%
7	(寄宿舎のみ皆さんのみ答えてください) あなたは、寄宿舎の生活において、自分のことは自分でするなど、自立に向けた生活ができていますか。	67%	33%			100%	0%
8	あなたは学校での様々な活動を通じて、他の学校の生徒や地域の方との交流をすることができますか。	13%	62%	25%		75%	25%

A:大変良い B:良い C:あまり良くない D:悪い

○分析

高等部の通常学級の生徒を対象にアンケートを実施しました。

【行きたい学校:わかる授業、できる授業の実践に基づいた確かな知識・技能の習得と進路実現】
No.1「先生方は、あなたの見え方など実態に合わせてわかりやすい授業をしていますか。」の質問には、A評価が90%で、コメントの中にも授業が面白い、プリントがわかりやすいなどの意見がありました。No.2「先生方は、少人数による個別指導を生かし、各種大会やコンテストへの参加や応募に向け様々な場面で十分な支援をしていますか。」の質問においてもA評価が80%と高く、全国盲学校弁論大会で優勝するなど各大会で優秀な成績を修めることができました。

【行かせたい学校:発達や障がいの状態に応じて健康や安全な生活と自立に向けた生活能力の向上】
理療科では臨床実習に力を入れ、寄宿舎では自立に向けた生活能力の向上に努めるなど、体験を重視した活動を行っています。そのことから、理療科生と宿舎生に対する質問において高い評価を得ました。なお、自分の健康の自己管理や食事に関してあまり意識をしていなかったとのCの評価が10%と20%の回答があり、これに向けては関係者で連携を図りさらなる健康教育並びに食育の推進を図っていきます。

【頼りたい学校:体験活動や地域交流をもとに児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成】
No.8「あなたは学校での様々な活動を通じて、他の学校の生徒や地域の方との交流をすることができますか。」の質問に対しAとBを合わせ75%が良いとの評価を得る一方、Cの評価が25%みられており、高等部生徒の人数減に伴い、他校や地域との交流の機会等を精選したことが要因の一つとも考えられることから、その意義や成就感を実感できなかった部分もあったと思われます。今後、生徒の意見も踏まえ有意義な交流がなされるよう努めてまいります。